

第2回栗東市子ども・子育て会議 会議録要旨

開催日時・ 場所	令和5年3月8日（水） 午後6時30分～午後7時40分 栗東市危機管理センター3階大研修室
出席委員	日下絵梨奈委員、福原かおる委員、若井貴裕委員、橋倉実砂都委員、白井洋一委員、田中裕委員、國松芳子委員、山本初子委員（副会長）、井上和子委員（会長）、小野澤祐子委員、北村一子委員
欠席委員	加藤雅也委員、本山真知子委員、木築野百合委員、寺井利彦委員、長岡由美委員
事務局	子ども青少年局長、幼児施設課長、幼児施設課民活等推進係長、幼児保育課長、幼児保育課課長補佐、健康増進課長、子育て応援課長、子育て応援課課長補佐、子育て応援課子育て支援係担当
事 項	1 開会 2 市民憲章唱和 3 挨拶 4 議事 （1）事業計画に基づく令和4年度の取り組みについて【資料1】 （2）事業計画の中間年の見直しについて【資料2】 5 その他 6 閉会

1 開会

2 市民憲章唱和

3 挨拶

- ・井上会長が挨拶を行った。
- ・市長が挨拶を行った。

- ・事務局より委員16名中11名の出席により定足数を満たしているため、会議が成立することを報告した。
- ・市長が公務のため退席した。

4 議事

- ・事務局より栗東市附属機関等の会議の公開に関する規則第3条に基づき、公開されることを報告。

（議事1）

事業計画に基づく令和4年度の取り組みについて【資料1】

- ・事務局が資料の説明を行った。

（議事2）

事業計画の中間年の見直しについて【資料2】

- ・事務局が資料の説明を行った。

委 員	計画の見直しについて、コロナの影響により減少しているため見直しは行わないという説明であったが、コロナが影響しているという根拠となるところの説明をお願いしたい。現場では、入園や延長保育の利用に関して、コロナの影響をあまり感じなかったため、驚いている。
事 務 局	実績報告の数値によるものである。書面開催となった第1回の会議資料にあるが、令和3年度の状況から判断した。
委 員	見直しをするかしないかを検討することが今回の会議の中心となると思っていた。第1回の資料までは確認できていなかった。自分としては保育現場においては利用控えが感じなかった。5月からコロナ感染症が5類へと移行するが、その後の見込みはどうか。
事 務 局	令和2年、3年度は下回ったが、令和4年度の実績は回復傾向にある。令和5年、6年度の状況を見て、計画の見込み通り増えてくるようなら、状況を勘案しながら、令和7年度の見込み数を検討していく。
会 長	各委員から感想でもよいので何か意見はないか。
委 員	意見ではないが、こんなにたくさんの事業をしてくださっているのだとわかり、ありがたく思っている。
委 員	幼稚園の保護者間でよく聞くことは、一時預かりを利用したいが利用するのに条件等がありハードルが高いということ。預けたときも利用者が5～6人と少なかった。利用しやすいようにしてほしい。
委 員	病後児保育について、現在保育園ではインフルエンザが流行している。病後児保育の定員が少なく、利用しづらいこともある。増やすことはできないのか。また、障がい児については子ども・子育て支援事業計画には含まれていないようだが、別の課となるのか。
会 長	病後児保育は、コロナ感染の場合は預かってもらえないと聞かすが、今後5類に変更になった場合はどうなるのか。
事 務 局	新型コロナ感染の場合の利用はできないことになっている。5類に移行したとしても感染症であることに違いはないため、隔離等が必要で、通常保育とは別に部屋の確保が必要になる。また、定員を増やすには、職員体制も整える必要がある。
事 務 局	障がい児に対する支援については、計画の中にも触れており、例えば、発達支援課や学校教育課、幼児保育課、障がい福祉課など関係課がどういう事業をしているか紹介している。また参考にしていきたい。
委 員	資料1の6ページの受け皿の確保としての整備計画について計画どおり進んでいるのか。職員の配置基準が30:1から25:1に変わる。保育士の確保が課題となってくるが、量の確保と質のバランスが図られているのか。
事 務 局	昨年度から就学前教育・保育施設のあり方検討を進めており、計画通りの整備が出来ていない部分もあり、令和4年度以降の計画を保留としている。栗東市の出生率は高い傾向にあるが、就学に向けて市外に流出、減少していく傾向が伺えるなど、地域によって差異がある状況である。令和5年以降の動向も見極め、第3期計画の中で受け皿整備等の見直し・検討を行い、計画に反映させていく。

5 その他

- ・事務局が第3期栗東市子ども・子育て支援事業計画（令和7年度～令和11年度）の策定について説明を行った。

6 閉会

以上